

1. 本園の教育目標

生きる力の基礎を培う

- ・自分大好き・友達大好きな子供を育む
- ・豊かな感性を育む
- ・基本的な生活習慣や態度を育てる

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

努力目標

ちがうってすてき つながるってたのしい

～心も体も健康な子供を目指して～ *努力目標達成のための手立てを考えて実践する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
① 努力目標に向けて	A	・体幹が弱く、姿勢保持をするのが難しい子供が多い姿を見て、体幹が強くなるような遊びや動きを意識して取り入れるようにしてきた。保育を立案する時に、2週間でどのような遊び・動きを入れるのがよいか、確認をしながら保育を行ってきた。 ・新しい遊具を取り入れることで遊びの幅も広がり、意欲的に遊ぶ姿が多くみられるようになった。
② 特別支援教育の推進	B	・情報共有を密にし、子供の発達や時期に応じた保育を勧めてきた。又、巡回相談で学んだことを伝達研修を行いながら進めてきた。 ・人数が多く、全員が揃うことが難しいので、すぐに共有するのが難しいのが課題である。
③ 安全管理・環境整備	B	・毎月、安全点検を行い、不備な箇所については改善を進めてきた。又、雨天時には園生活を送りにくかったりした箇所を整備してもらったり、園内の草刈りを定期的に行っていただくことで、保育環境を整えることができた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	今年度も感染症対策を行いながら、社会情勢を見ながら保育を検討しすすめてきた。一人ひとりがいろいろな経験をし、友達・先生大好き幼稚園大好きな子供に育ってきた。一人ひとりの課題は違うので、子供に応じた寄り添い方を共通理解しながら保育をすすめていきたい。

◎「3. 4.」の評価結果の表示方法

A：十分達成されている B：達成されている C：取り組まれているが成果が十分でない D：取組みが不十分

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
職員の資質向上	いろいろな研修に参加し、伝達研修を行い、多くの人が共有し、学びを深められるようにする。 お互いの保育を見あい合える環境を整える
特別支援教育の充実	関係機関と連携をもったり、巡回相談で学んだことを活かしたりしながら一人ひとりに寄り添った保育を行っていきたい